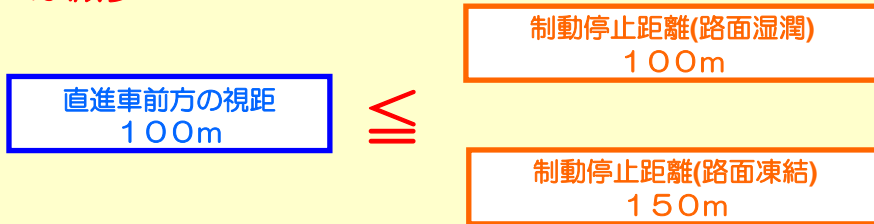


# 一般国道45号 越喜来交差点改良

- 急な下り坂の下方に位置する交差点において事故が多発。
- 道路線形や地形状況から事故要因を特定し、適合した対策を講じることにより、交通事故の減少を図った。

## 整備効果

- 直進交通の障害が解消され、追突事故等の危険性が減少



※ 走行速度60km/h、下り勾配6%として算定

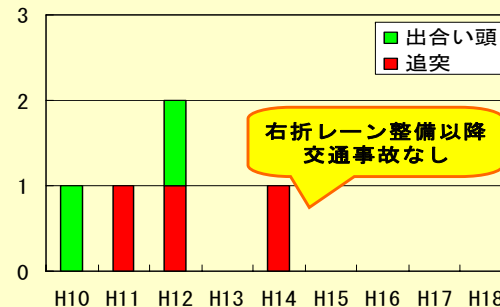


右折待ちの停止車両と直進車両の分離が図られ、追突事故等を回避

- 交通事故件数の減少



右折車関連事故の発生状況 (H10-18)

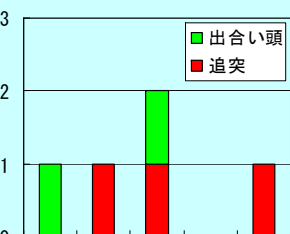


※ H18の事故件数はH18. 10月末現在

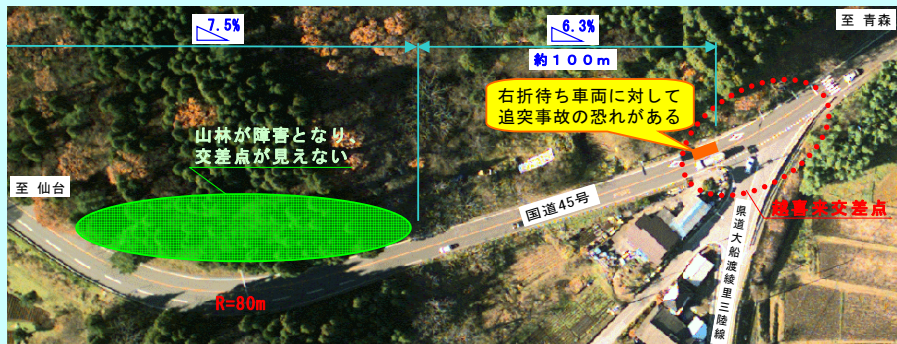
## 整備前の状況

- 交差点付近の道路状況は、6%以上の縦断勾配かつR=80mの急カーブ区間である。
- カーブと交差点が比較的近接していることから見通しが悪く、右折待ち車両の発見が遅れる。
- 急な下り坂を走行し、車速が高い条件下では、制動停止距離に対応した視距が不足し交差点内事故の危険性が高い。
- 右折車関連の事故件数は、5件/5年(H10-H14)となっている。

右折車関連事故の状況 (H10-14)



※H14の事故件数は、H14. 10月末までの値



## 対策

- 右折レーンの整備(H14.11完成)
- 右折レーンの設置により、直進車と右折車を分離することで追突事故等の発生防止を図る。

